



輸送サービス労組に寄せられた声（一部抜粋）

利用者の一人ですが、ホームドアの全駅配置で、JR 東日本常磐線各駅停車の車掌が廃止されると聞いています。

取手駅のみどりの窓口の廃止、東口改札の遠隔化、我孫子駅のみどりの窓口の廃止・話せる券売機化、柏駅のみどりの窓口の通学定期や長期休暇前の大混雑等、常磐線各駅停車はかなり収益性が悪いのか冷遇されています。

最近是不快な乗客トラブルなどで駅員が不足し対処に時間がかかり、運行に支障が出ています。水戸駅ではエスカレーターでの死亡事故も発生して、JR 東日本常磐線快速電車や各駅停車の安全は現場の方も全力で頑張っている中で大変申し訳ないですが、破綻しています。

車掌の廃止には絶対反対です。JR 東日本はかなりの赤字でボロ儲けしています。

常磐線各駅停車と南武線では2024年度下期よりJR東日本では初となる長編成ワンマン運転を実施することが目指されています。中編成ワンマン運転を開始した線区では、ワンマン運転開始以降、多くの事故・事象が発生しています。2023年度申38号「ワンマン運転実施における諸課題の解決を求める申し入れ」の団体交渉においてもそのこと指摘してきましたが、会社は「ワンマンでもツーマン（車掌が乗務する列車）でも発生する事象」と述べ、ワンマン運転実施が事故・事象の背景にあることを認めたくない姿勢に終始しています。

車内での事件や大規模災害時には迅速な避難誘導が求められるなか、ワンマン運転時の駅間では運転士のみによる負担がのしかかります。また、車両点検などで運転士が車外に降りてしまった場合は、車内放送が行えず利用者に不安を与えてしまうなど、サービスレベルの低下も免れません。

**短・中編成ワンマン運転における諸課題の解決なしに、
長編成ワンマン運転実施は認められません！**



左記 二次元コードの
輸送サービス労組ホームページ
(お問い合わせフォーム) より、

**利用者の皆さんからの声を
ぜひお寄せください！**



利用者からも不安の声が寄せられる！
現場で働く組合員・利用者の声に耳を傾けるべきだ！

安全・サービスレベル低下を招く、長編成ワンマン運転は認められない！